

ICカードの

取り扱い注意事項

1

折り曲げたり、ズボンの後ろポケットに入れない。

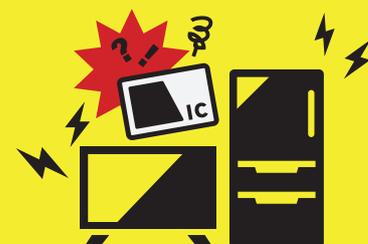
ICチップに過度な圧力がかかるとICチップが壊れる可能性があります。また、カードが破損しアンテナが切れ通電が出来なくなることがあります。



2

静電気を帯電させない。

静電気によってICチップが壊れる可能性があります。テレビや冷蔵庫などといった帯電しやすいものの上にはおかないで下さい。



3

高温な場所、高湿度な場所にはおかない。

炎天下の車内などに放置していると、変形し使えなくなる恐れがあります。



4

カードケースの種類にご注意

ポリカーボネート製のハードタイプのカードケースに入れてのご使用を推奨します。塩化ビニール製のカードケースは可塑剤の影響で変色、印刷の剥離の可能性があります。



5

ICカードを2枚以上重ねての使用は避ける。

リーダー側から供給される電力が分散されて、ICチップが読めるだけの電力が足りず、読み取りができなくなる恐れがあります。2枚以上重ねて使用される場合が、ICカードセパレーターを挟み込んでのご使用をお願いします。

